



馬券売り場の様子。1回の投票は
10万ウォン=約1万円までに制限される。



パドックは掘り下げられた形で、観客席もひな壇になっているので見やすい。



ソウルの競馬場、コース全景。
内回り外回り2本のダートコースから成る。

世界旅打ち気分

●第12回・ソウル競馬公園

須田鷹雄

写真のカラー版は
<https://www.instagram.com/sudatakaoshoten/> の
グリーンファーム会報#2019年2月号
でご覧いただけます

<https://www.instagram.com/sudatakaoshoten/>

だ。
入場門を入ると立派なスタン
ドが目に入ってくる。一般エリアは
家族連れや熱心な馬券ファンで賑
わっており、食堂なども充実してい
るので、そこで過ごしてもちろん
よい。ただ、外国人である日本人に
はちゅうとした特権があるのでぜひ
それを利用したい。

競馬場の前には専門紙を売る
売店やさまざまな飲食物を売る
店が出ている。韓国はとにかく専
門紙の種類が多く(ちなみに競輪
や競艇もあるが、そちらも専門紙
の種類が多い)、どれを選ぶか悩む
でしまう。ちなみに韓国新聞で
は○が最上位のシルバーベンチではなく、
☆○○の順で☆がいわゆる本命

當なので、日本の競馬ファンが遊びに行つてもわりと馴染みやすいのではないかと思う。

韓国競馬そのものの紹介が長くなつたが、ソウル競馬場への旅打ちについて説明しよう。競馬場へは地下鉄4号線に乗り、競馬公園駅で降りる。競馬場は駅からすぐだ。プサンの競馬場は地下鉄駅から送迎バスに乗らねばならないので、ソウルのほうが外国人にとっては行きやすい。

ラブレッヂの競馬は、内国産馬と輸入馬のレースに分けられている。韓国でも主に済州島で馬産が行

まずは韓国競馬の基本的な事情を「」説明しよう。韓国の競馬は韓国馬事会=KRAによつて運営されている。競馬場はソウル、プサン、済州島の3箇所にあるが、済州島の競馬場はチエジュボローと呼ばれる韓国特有のボニーによる競馬のみに使われる。ジョッキーのライセンスも別立てのことである。

競馬は基本的に金・土・日の3日間開催で、各日とも3場のうち2場で開催が行なわれ、互いに相互発売される。発売時間も明確に分けられていて、2場のうち片方しか買えない「という」ことはない。

ソウルとプサンで行なわれるサ

今回は韓国の競馬場を取り上げてみよう。最近はコリアカップのように日本馬が遠征するレースもできているが、筆者個人はちょっとこ無沙汰してしまっている。近いまで行けると思うと、逆に行かないまま時間が経ってしまうのかもしれない。気がつけば5年ほど行つていないので、その間に事情の変わった点があつた場合は、「容赦頼む」と。

どんなん一食しつかり食べられた
食堂もあるし、以前より店舗数が
減つてしまつたが、ちよつともゐる
よつた食べ物を売る店もある。

仮に席を確保できなかつた場合は、地元ファンと同じ目線で競馬を楽しもう。パドックは掘り下げられたような形で見やすいし、中央競馬と同じようなターフビジョン（ターフビジョン）もある。オズズ表示もしっかりしている。食べ物はビビンバやコッケジャン、うどん（ちなみに、うどんは韓国語でもう

打ちだ。日本語のマークカードなども用意されていて、そのうなので至れり尽くせり。事前予約はできず先着順で定員に限りがあるので、早めに競馬場へ行きたい。

それは外国人専用室である。KRAは海外からのゲストを優待する施策をとつており、以前は来賓室のよつた特別室が用意されていた。その後、指定席の一 角だけにグレードダウンされていたが、最近またスタンド5階に「チャンピオンズスイート」というスペースが用意されるようになつたようだ。利用にはパスポートの持参が必要で、料金は1万ウォンだからおよそ100円。有料ではあるが、かなりお値

「リアカップを見て分かるように、まだ日本に肩を並べるにはだいぶ時間がかかりそうだ。」

なわれているのだが海外と比べてレベルが追いついておらず、日本のように混合競走を増やせる状態ではない。ちなみに韓国には日本からも何頭か種牡馬が行つてゐる。KRAの種馬所で主力になつてゐるのはアメリカから來た馬たち。アメリカで種牡馬としていまひとつだつた馬が輸入されるパターンが多く、ダート競馬しかない韓国においてはそれが機能してゐる。民間には他の国から輸入された種牡馬もいるが、そちらもアメリカ産種牡馬が強い。

2018年のリーディングサイアイ（韓国内国産馬）はイクトンペークで、以下メラフィー、オフイサーとなつてゐる。実に15位までがアメリカ産馬で、13位に日本で競走馬として走つたテスマッタが入つた。アメリカ以外で生産された種牡馬ではリミットレスビッドが16位、イングランディーレが17位、アドマイヤドンが21位に入つてゐる。

最近は外国人の馬主も導入してレベルアップを計つてゐる韓国競馬だが、ロンドンタウンが圧勝した

本にもテノスケ賭博があつたが、あんなノリが行なわれていたりしたものだが、こちらはさすがに無くなっているかもしない。

うへ向かうと、駅の近くに野天居酒屋とでもよぶべきお店が出てる。筆者は下戸であるうえ韓国語が話せないので「トライした」とはない。だが、ちょうどあこがれる店ではあるので、お酒好きの皆さんにはぜひ挑戦していただきたい、といふのだ。

やがて10年ちゆうど前の時点では、駅の階段で違法賭博（昔の田

あてて払戻金が高額になると、税金を天引きされるのだ。所得税に加えて住民税まで引かれる。外国人であつても容赦ない。

レースが終わって地下鉄駅のほ

馬券は日本と同様の賭式があるが、場内の現金投票で3連単は買えない。一般エリアのマークカードは韓国語のみなので、あらかじめネットで予習していく方がいいだろう。窓口のほかに自動発売機もあるが現金は入らず、機械で買う場合はあらかじめキャッシュカードやチケットを窓口で買っておく必要がある。

重発表もたしか香港やシンガポールより早く導入されていましたように思ふ。JRAを参考にした競馬運

競馬そのものの説明が長くなるが、実は韓国競馬はかつての日本競馬と似た面がある。日本ではかつて「電車の中で堂々と競馬新聞は読めない」と言われた時代があったが、韓国ではいまでも競馬の持つ地位が高くない。いわゆる射幸心批判のようなものが根強く、場外馬券売り場に対する反対運動なども起ころる。社会が競馬に対して厳しいのは儒教社会であることとも関係あるらしく、「これはなかなか変わらないようだ。KRAはとにかくイメージ戦略を大事にしており、競馬場を競馬場とは呼ばず「競馬公園」という名称にするなど涙ぐましい努力をしてきた。最近では「レッツ・ファンパーク」という謎の愛称も登場しておらず、苦労のほどが伺える。

そのKRAは先行して成功していたJRAをかなり参考にしてきた。JRAでは廃止されたが、開催用しているというのもJRAを参考にしたそうだ。競馬場の作りやレースの見せ方もJRAに近く、馬体